

患者総合支援センターたより

【発行】患者支援課 TEL:06-6645-2857

特集 てんかんセンター

多職種チームによる包括的な診療



当院は、日本てんかん学会が認定する**包括的てんかん専門医療施設**です。てんかんセンターでは、脳神経内科、小児科、脳神経外科、神経精神科の専門医をはじめ、救命救急センターや看護師、臨床検査技師、精神保健福祉士など、さまざまな職種が連携して、患者さん一人ひとりに最適な治療を行っています。診断から治療まで、患者さんにとって最良の結果を目指し、各科が協力し合いながら進めていきます。

外科適応の判断と外科治療

内科的治療に加え、外科治療が適応される場合には、脳神経外科を中心としたチーム医療によりてんかん手術も積極的に行っています。

多角的な医療連携による治療と支援

指定難病や小児慢性特定疾患に伴う薬剤治療抵抗性てんかんの診療も行っています。遺伝相談が必要な場合は、ゲノム医療センターと連携し、適切なサポートを提供しています。

てんかん診断を支える先進的な検査体制

当院のてんかんセンターでは、患者さんの病態に応じた多様な検査を行い、てんかんの確定診断や治療方針の決定をサポートしています。「長時間ビデオ脳波モニタリング」は小児から高齢者まで全年齢で行っており、近畿圏では数箇所では稼働していない「MEG検査」にも対応しています。

長時間ビデオ脳波モニタリング

てんかんの鑑別や発作症状と脳波対応の確認、手術前後の評価などを目的として実施します。成人でこの検査をできる病院は限られており、当院はその数少ない施設の一つです。検査は入院で行います。

頭皮脳波検査

てんかん発作の評価や脳波異常の確認を目的に行われ、成人・小児ともに外来で受けることができます。検査は30分程度の短時間で実施でき、簡便にてんかんの兆候を確認することが可能です。

MEG（脳磁図検査）

てんかん発作の焦点を特定し、脳の機能の評価するために実施されます。希少な機器を使用し、てんかん性の脳活動によって生じる微小な磁場を計測します。この検査により、てんかん発作の発生源を高精度で特定でき、精密な診断が可能となります。

MRI

てんかんの原因となる脳の構造的変化を確認するために実施されます。当院では3テスラの高解像度MRI機器を完備し、てんかんに特化した専門的な読影技術を駆使して精密に解析します。

PET・SPECT（脳の代謝・血流検査）

脳の代謝や血流異常を観察するために実施されます。当院では、FDG-PET（グルコースPET）、ECD（脳血流）やイオマゼニール（IMZ）SPECTを使用し、てんかん発作による脳の代謝や血流の変化を評価します。

神経心理検査・発達検査

高次脳機能や発達への影響を評価するために実施されます。てんかんは脳の機能に影響を与えることがあるため、これらの検査により高次脳機能や発達に関する問題を専門的に評価し、治療計画に役立てています。

当院は、てんかん治療・てんかん検査目的での紹介を受け付けています。

てんかんの専門的医療や検査を検討されている患者さんはいらっしゃいませんか？社会的サポートについての案内や、検査(脳波、脳磁図)のみのご希望なども柔軟に対応させていただきます。

こんなご紹介をよく頂いています。ぜひ、お気軽にご紹介ください。

- ・てんかんの診断で正しいのだろうか？
- ・発作が抑制されていないけど、外科治療の可能性はあるのだろうか？
- ・内服の副作用が強いようだが、他の内服や治療手段はないのだろうか？

→診察予約申し込みについては、**地域医療連絡室**まで

TEL 06-6645-2877 / FAX 06-6646-6215

平日9時00分～19時00分（休診日を除く）



地域医療連絡室 てんかんセンター

※紹介状(診療情報提供書)の宛先・内容により、初診担当科は以下のように定めさせていただきます。

- ①各診療科・医師あて： 紹介状に記載の診療科・医師
- ②てんかんセンターあて： 成人(高校生以上)は脳神経内科、
小児(中学生以下)は小児科
- ③内容がてんかん外科手術の検討や外科手術後の場合：
脳神経外科

診療科	月	火	水	木	金
脳神経内科	○	○	○	○	○
小児科	○		○		
脳神経外科	○			○	○

※神経精神科の診察は、脳神経内科、小児科、脳神経外科で初診対応後、院内紹介で予約をお取りします。

※救命救急センターは、救急隊からの入電で随時対応します。

内分泌、骨代謝、電解質、尿酸疾患を中心に診療しています

1. 副腎腫瘍(エコー・CT検査など) ⇒ 初診担当医へ(月～金曜日)

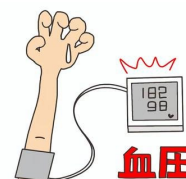
腹部エコー・CT検査で、副腎腫瘍を指摘されることが増えています

- 原発性アルドステロン症 ●クッシング症候群
- 褐色細胞腫 ●アンドロゲン産生腫瘍 など



2. 高血圧の原因は? ⇒ 初診担当医へ(月～金曜日)

●重症の高血圧 ●若年発症の高血圧 ●難治性高血圧 など
二次性高血圧(原発性アルドステロン症・クッシング症候群など)
の精査・治療を行います。



3. 骨粗鬆症 ⇒ 今西医師(火曜日・木曜日)

骨粗鬆症の精査・治療を行います。
また、代謝性骨疾患の診断と治療も行っており、
骨軟化症、くる病(成人)、骨Paget病等の精査・治療を行います。



4. 低ナトリウム血症 ⇒ 初診担当医へ(月～金曜日)

心不全・肝硬変以外にも ●副腎機能低下症 ●SIADH
が低ナトリウム血症の原因となります。

Na < 135mEq/L

5. 高・低カルシウム血症

⇒ 初診担当医へ(月～金曜日)

6. 低血糖

⇒ 初診担当医へ(月～金曜日)

7. 下垂体疾患・甲状腺疾患

⇒ 初診担当医へ(月～金曜日)

8. 尿酸・痛風疾患

⇒ 藏城医師(水曜日・木曜日)

最善な治療を提供できるように尽力
いたします。お気軽にご紹介ください。

当科のQRコード



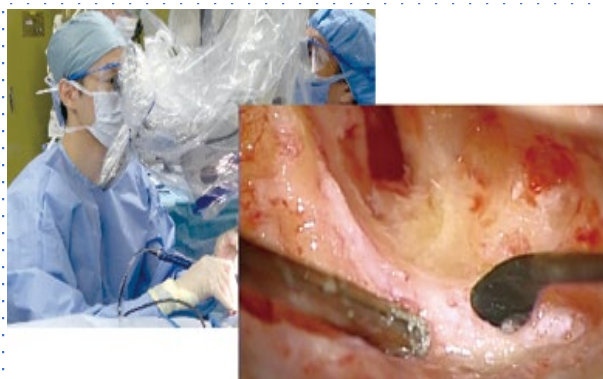
耳鼻いんこう科

耳鼻咽喉頭頸部外科では①耳疾患、②鼻疾患、③頭頸部（甲状腺）疾患を取り扱っております。手術適応症例に対しては積極的に手術加療に取り組んでおります。

①耳疾患

めまい・難聴・耳だれで悩まれている方は御相談ください

- ・ **中耳疾患**に対しては低侵襲である内視鏡を用いた手術も行っております。
- ・ **顔面神経麻痺**に対しては薬物治療、重症例には手術加療も行っております。
- ・ **高度難聴**に対しては人工内耳手術も行っております。



②鼻疾患

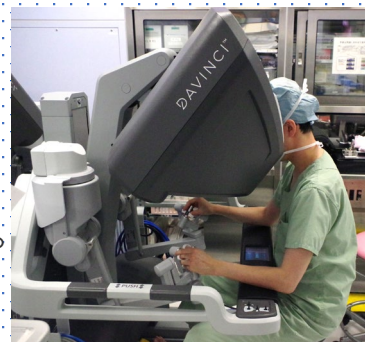
保存的治療で改善しない、鼻汁・鼻閉に悩まれている方は御相談ください

- ・ **副鼻腔炎、鼻中隔疾患**に対して内視鏡下鼻副鼻腔手術を行っております。必要時にナビゲーションシステムを使用し安全な手術を心がけております。



③頭頸部(甲状腺)疾患

- ・ **頭頸部悪性腫瘍**に対して力を入れて治療を行っております。
- ・ 比較的早期の腫瘍に対しては大阪初の施設として手術支援ロボットda Vinci®を用いて行っております。
- ・ **甲状腺腫瘍**に対しても手術を積極的に行っております。



最適な診断・治療を提供するように尽力いたします。気軽に御相談ください！

次回予告



★ 診療科紹介（予定） ★ 当院の診療科をご紹介します。

循環器内科

眼科

Face to Faceの会 ご案内

今回は 令和7年3月15日（土）に開催します。

詳細については同封のご案内をご確認ください。

地域医療連絡室

月曜日～金曜日 9:00～19:00

電話：06-6645-2877

FAX：06-6646-6215

URL：[https://www.hosp.omu.ac.jp/
health_professionals/area/area.html](https://www.hosp.omu.ac.jp/health_professionals/area/area.html)

ご予約方法

『診察予約申込書（診療情報提供書）』をご作成のうえ、
FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。

詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、
診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や
別添していただく診療情報提供書はできる限り
詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。
また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。



〒545-8586

大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪公立大学医学部附属病院

TEL : 06-6645-2121 (代表)

TEL : 06-6645-2857 (患者支援課)

初診受付時間 : 8 : 45 ~ 10 : 30

休診日 : 土曜日・日曜日・祝日・12/29~1/3

送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。